



スマート農業技術現地研修会 「ロボットトラクタと連携した牧草収穫」を開催しました

令和2年9月29日、奥羽牧場主催で『ロボットトラクタと連携した牧草収穫』を開催しました。

本研修会は、農業分野における担い手や高齢化により深刻となっている労働力不足を解消するために、ロボットトラクタと連携した牧草生産を実演し、スマート農業について学ぶことを目的としています。県や学校関係者等25名が参加しました。

奥羽牧場の粗飼料生産の概要についての説明後、ヤンマーアグリジャパン株式会社東北支所の担当者から、衛星測位情報を利用し自動走行するロボットトラクタについての説明がありました。ロボットトラクタと連携した牧草収穫実演会では、約4haのほ場において、ロボットトラクタにヘイレーキ（集草作業機）を装着し牧草を集める作業を無人で行い、連携してロールバレーを牽引する有人トラクタが牧草ロールを梱包する作業を行いました。ロボットトラクタの正確な動きに、高い関心が寄せられていました。最後に、当场に設置しているイネ科牧草の見本園を紹介しました。今年の8月末にオーチャードグラスとチモシーの新品種を追加増設しており、新品種の生育に興味を持ったという声がありました。

研修会は、3密を避けソーシャルディスタンスを取りながらの研修会となりましたが、参加者からは高い満足度の評価を得ることが出来ました。



メーカー担当者からの説明



ロボットトラクタでの集草作業



ロボットトラクタと連携した牧草収穫



見本園でのイネ科牧草紹介